

令和5年度 森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京 都 府
京 都 市

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項の規定により、令和5年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。
なお、本市では森林環境譲与税を毎年度全額基金に積み立てのうえ、活用額を取り崩す運用をしています。

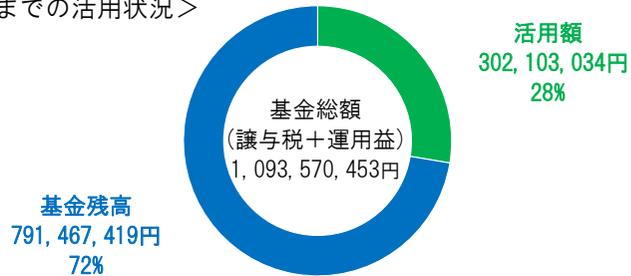
令和6年11月29日

1 森林環境譲与税及び京都市森林経営管理基金の状況

森林環境譲与税及び運用益（円）	
令和元年度～令和4年度森林環境譲与税額	807,618,000
令和5年度森林環境譲与税額	285,850,000
令和元年度～令和5年度運用益合計額	102,453
合計	1,093,570,453

京都市森林経営管理基金（円）		
令和4年度末の残高		575,626,934
積立額	令和5年度森林環境譲与税	285,850,000
	令和5年度運用益	27,797
合計		861,504,731
取崩し額	令和5年度活用額	△ 70,037,312
令和5年度末の残高 ^{*1}		791,467,419

<令和5年度までの活用状況>



基金残高 ^{*1} の活用方針
京都市では、2050年までに市内すべての人工林を適切に管理する目標を掲げています。 目標達成に向けては、多額の管理費用が見込まれるため、森林環境譲与税を将来に必要な財源として京都市森林経営管理基金に積み立て、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査、経営管理権集積計画の作成及び経営管理権が設定された森林施業等の事業に対し、計画的かつ重点的に充当することとしています。

2 令和5年度の具体的な活用状況 ※詳細は別記のとおり

区分	使途・目的	森林環境譲与税 充当額（円）
森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	56,191,713
	その他森林整備事業	0
森林整備の 促進	人材の育成及び確保	9,345,600
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発	0
	木材利用の促進	0
	その他森林整備の促進に関する事業	4,499,999
活用額計		70,037,312

<令和5年度の活用状況>



【別記】

令和5年度事業の詳細

番号	区分	使途・目的	事業名	森林環境譲与税 充当額（円）	事業内容・実績
1	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	京都市森林経営管理推進事業	32,276,359	①意向調査の実施 2地区（840ha） ②集積計画の作成 21箇所（58ha） ③管理施業の実施 0.2ha
2	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	森林経営計画作成促進事業	5,943,884	森林経営計画の認定森林から木材市場等へ搬出される木材の運搬経費に対する支援 11件
3	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	天然林等整備促進モデル事業	17,971,470	森林経営管理法に基づく意向調査の対象森林などにおいて、所有者自らが多様な森づくりを行う際の支援策の制度化に向けたモデル施業等の実施 ①計画立案 3地区（11.0ha） ②モデル施業 2地区（2.8ha） ③人材育成研修等 7回
4	森林整備の促進	人材の育成及び確保	森林経営管理人材育成事業	9,345,600	森林所有者の経営管理をサポートする人材2名の育成
5	森林整備の促進	その他森林整備の促進に関する事業	市内産木材普及促進事業	4,499,999	京都市域産材供給協会への委託により、みやこ杣木を供給する製材所の勧誘・指導を行うとともに、みやこ杣木の調達相談を通じた利用者ニーズの把握や製材所へのフィードバック、製品開発・販売のサポート等の実施 生産事業者の登録、指導（登録事業者数：43社（令和5年度末）） みやこ杣木調達相談対応、建築事業者向け説明会でのみやこ杣木製品のPR等

<事業目的>

令和32年(2050年)までに、市内すべての人工林を適切に管理する目標の達成に向け、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査、経営管理権集積計画の作成及び経営管理権が設定された森林の整備等を実施する。

■ 事業内容及び実績

1 経営管理意向調査

平成21年度以降に間伐などの施業が確認できなかった私有人工林の所有者に、今後の経営管理に関する意向を確認する調査を実施し、本市が預かって経営管理する候補となる森林を特定した。

対象地域：北区小野、大森、右京区京北山国地域

対象面積：840ha

調査内容：問1 調査の対象となる森林の所有の有無

問2 森林の境界について

問3 境界の隣接同意について

問4 所有森林の管理方法について

問5 所有森林の今後の管理方法について

実績：回答面積 700ha(83%)

市に預けたい意向がある森林 210ha

2 経営管理権集積計画の作成

本市が預かって経営管理する候補となった森林について、所有者の同意及び隣接者の確認を経て、経営管理権集積計画の作成を進めた。

対象地域：北区中川、杉阪、真弓、右京区京北山国地域等

対象面積：340ha

実績：令和5年度に設定した経営管理権集積計画 58ha

3 経営管理権を設定した森林の整備等

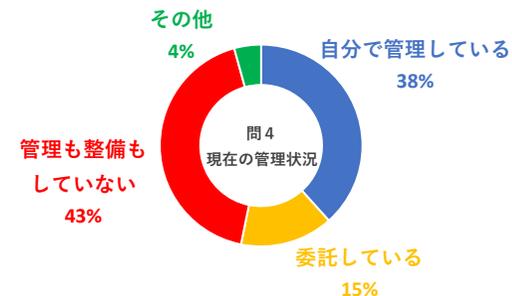
経営管理権を設定した森林において、間伐を実施した。

対象地域：北区中川

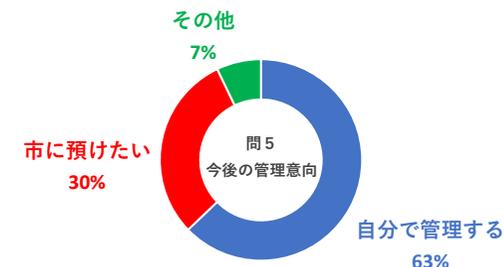
実績：0.2ha



R5意向調査対象地区
出典：国土地理院地図



R5意向調査票回答結果① (面積割合)



R5意向調査票回答結果② (面積割合)



R5意向調査説明会の様子



R5間伐施業地

2 森林経営計画作成促進事業（充当額：5,944千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

森林経営計画の作成を通じた森林整備の集約化や路網整備を促進することにより、林業の採算性を高め、持続的な森林経営を推進する。

■ 事業内容及び実績

令和4年度以降に新たに樹立した森林経営計画の認定森林から搬出される木材について、木材市場等への運搬経費を支援する。

交付の対象	以下(1)又は(2)に該当する森林から伐採された間伐材、主伐材（人工林が主伐で造林が確実に実施されるものに限る）。 (1)林班計画内の森林 (2)森林の経営の委託を受けた森林を含む区域計画及び属人計画内の森林
補助金の額	運搬距離30km未満：1,100円/m ³ 以内 運搬距離30km以上：1,500円/m ³ 以内 ※主伐材は、1林相当り上限50万円

実績： 支援件数 11件 5,807m³



3 天然林化等整備促進モデル事業（充当額：17,971千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

条件不利地等により手入れが行き届かず、木材生産に適さない人工林について、**広葉樹の植栽等による天然林化をはじめとする手法の検討を進め**、多様で健全な森林への誘導を図ることにより、森林の公益的機能を発揮する。

■ 事業内容及び実績

1 モデル事業

所有者自らが多様な森づくりを行う際の支援策の制度化に向けたモデル施業等の実施

実績：計画立案 3地区（11.0ha）

モデル施業 2地区（2.8ha）

2 人材の育成

天然林化等の誘導を目標とした森林整備に必要な基礎知識を習得するための研修の実施

研修テーマ：「自然配植の基礎」、「森林立地・土壌」など

実績：研修会 7回（参加延人数 105人）



4 森林経営管理人材育成事業（充当額：9,346千円）

【人材の育成及び確保】

<事業目的>

森林組合等と連携して、森林の経営管理に意欲のある人材を雇用し、森林経営計画の作成・実践などの業務への従事を通じて、森林・林業に関する専門知識の習得や、森林所有者との信頼関係を構築することで、所有者に対して森林の経営管理を方法を助言、指導できる人材（フォレスター）を育成する。

■ 事業内容及び実績

森林組合において、制度の学習から現場の調査といった幅広い業務を経験し、森林の管理方法を提案できる人材（フォレスター）を育成している。

森林経営管理委託契約や伐採届の作成、境界確認の現地調査、作業道工事請負契約の締結等について学んでいる。

実績：2名（令和4年度から継続して育成中）



5 市内産木材普及促進事業（充当額：4,500千円）

【その他森林整備の促進】

<事業目的>

市内の森林資源の循環利用を促進し、持続可能な森林経営の実現を目指すため、市内産木材地産表示制度（みやこ杉木認証制度）に基づき、製材事業者をはじめとした関連事業者間の連携の強化など、市内産木材の供給力の向上を図る。

■ 事業内容及び実績

京都市域産材供給協会への委託により、みやこ杉木を供給する製材所の勧誘・指導を行うとともに、みやこ杉木の調達相談を通じた利用者ニーズの把握や製材所へのフィードバック、製品開発・販売のサポート等を行っている。

実績：生産事業者の登録、指導（登録事業者数：43社(令和5年度末)）、みやこ杉木調達相談対応、建築事業者向け説明会でのみやこ杉木製品のPR等

みやこ杉木

